

第11次山梨県交通安全計画の振り返り

1 目標の達成状況

(道路交通安全)

【目標①】最終年における年間交通事故発生件数 2,000件以下

交通事故発生件数

(単位：件)

R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
2,146	2,093	2,019	2,112	2,013	2,014

- ・目標未達成。
- ・令和5年はコロナ5類移行の影響で増加したものの、全体的に減少傾向。
- ・『交通事故のない社会を目指して』という計画の基本理念を達成するためには、引き続き取組が必要。

【目標②】最終年における年間交通事故死者数 20人以下

交通事故死者数

(単位：人)

R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
21	32	25	29	28	19

- ・目標を達成。
- ・増減を繰り返しつつ、全体的に減少傾向。
- ・目標を達成できたことは、計画に基づき関係者が一体となって行った取組の成果。
- ・最終的な目標である死者数ゼロに向けて、引き続き取組が必要。

【目標③】最終年における年間交通事故重傷者数 260人以下

交通事故重傷者数

(単位：人)

R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
281	253	250	259	232	200

- ・目標を達成。
- ・令和5年はコロナ5類移行の影響で増加したものの、全体的に減少傾向。
- ・目標を達成できたことは、計画に基づき関係者が一体となって行った取組の成果。
- ・死者数の減少につながる重症者数の更なる減少に向けて、引き続き取組が必要。

【目標④】 飲酒運転の根絶を目指す

飲酒運転による交通事故件数

(単位：件)

R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
38	34	24	38	33	29

※一般原付以上の第一当事者のみ計上。

飲酒運転による交通事故死者数

(単位：人)

R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
2	0	2	2	1	2

※交通事故第一当事者、第二当事者含む。

飲酒運転違反件数（取締り状況）

(単位：件)

R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
213	234	292	343	345	336

- ・事故件数、死者数は増減を繰り返し、違反件数はコロナ後に増加傾向。
- ・令和7年7月末時点において人口10万人あたりの飲酒運転による人身事故件数が全国ワーストであるという本県の状況を踏まえ、飲酒運転の根絶を目指して、引き続き取組が必要。

【目標⑤】 全席シートベルト及びチャイルドシートの着用率 100%を目指す

(単位：%)

一般道		R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
シートベルト着用率 (運転席)	本県	99.0	98.3	99.1	98.7	98.9	99.0
	全国	99.0	99.1	99.1	99.2	99.2	99.1
シートベルト着用率 (助手席)	本県	93.5	96.5	94.2	96.1	95.1	96.6
	全国	96.5	96.7	96.9	97.1	96.8	96.5
シートベルト着用率 (後部座席)	本県	38.7	54.1	60.4	59.3	59.0	48.8
	全国	40.3	42.9	42.9	43.7	45.5	45.8
チャイルドシート着用率	本県			74.4	78.5	78.1	86.0
	全国			74.5	76.0	78.2	82.4

※R2年・R3年はJAFによるチャイルドシート着用率調査が実施されなかった。

- ・運転席の着用率はほぼ100%、助手席の着用率は95%前後である一方、後部座席の着用率は全国を上回っているものの、未だ50%前後。
- ・チャイルドシートの着用率は令和4年に比べ12ポイント上昇している。
- ・100%着用を目指して、引き続き取組が必要。

(鉄道交通安全)

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
事故件数 (件)	4 (4)	6 (3)	1 (0)	3 (2)	4 (1)
死者数 (乗客)	0	0	0	0	0
死者数 (全体)	3 (3)	4 (2)	1 (0)	2 (1)	2 (0)

※ () 内は鉄道運転事故のうち踏切事故件数・踏切事故死者数を再掲したもの

【目標①】乗客の死者数ゼロを目指す

- ・目標を達成。
- ・国の基本計画に基づいて、引き続き取組を実施。

【目標②】運転事故全体の死者数減少を目指す

- ・目標未達成。
- ・毎年事故が発生しているため、引き続き取組が必要。

(踏切道における交通安全)

【目標①】踏切事故件数ゼロを目指す

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
事故件数 (件)	4	3	0	2	1
死者数 (全体)	3	2	0	1	0

- ・目標未達成。
- ・死亡事故が発生しているため、引き続きゼロを目指した取組が必要。

2 重点的に対応すべき事項の状況

①高齢者対策

高齢者の事故件数

(単位：件)

	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年	R7 年
高齢者の事故件数	796	757	768	812	805	739
全事故件数	2,146	2,093	2,019	2,112	2,013	2,014
全事故に占める高齢者の割合	37.1%	36.2%	38.0%	38.4%	40.0%	36.7%

高齢者事故死者数

(単位：人)

	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年	R7 年
高齢者事故の死者数	12	15	13	19	17	8
全事故の死者数	21	32	25	29	28	19
全事故に占める高齢者の割合	57.1%	46.9%	52.0%	65.5%	60.7%	42.1%

- ・R2 から R7 にかけて事故件数が減少傾向にある一方、高齢者の割合はほぼ横ばい。
- ・高齢者事故死者数の全事故に占める割合は R3 から R7 の平均が 53.6% で、R2 と同程度。
- ・今後も高齢化の進展により、高齢者の人口が増えることに伴い、高齢者の交通事故が増加し

ていくことが想定されるため、引き続き重点的な取組が必要。

②飲酒運転の根絶に向けた対策

- ・上記（１）（道路交通安全）【目標④】に同じ。
- ・引き続き重点的な取組が必要。

③自転車安全適正利用対策

自転車事故件数

（単位：件）

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
自転車事故件数	297	271	234	269	241	255
全事故件数	2,146	2,093	2,019	2,112	2,013	2,014
全事故に占める自転車の割合	13.8%	12.9%	11.6%	12.7%	12.0%	12.7%

自転車事故死者数

（単位：人）

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
自転車事故の死者数	2	2	5	5	4	1
全事故の死者数	21	32	25	29	28	19
全事故に占める自転車の割合	9.5%	6.3%	20.0%	17.2%	14.3%	5.3%

- ・自転車事故件数は減少傾向にあるが、全事故に占める割合は横ばいで、死者も毎年発生。
- ・「山梨県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき自転車の安全適正利用及び自転車損害賠償責任保険等への加入促進の取組を実施しているほか、「山梨県自転車活用促進計画」においても「サイクル王国やまなし」の実現に向け、自転車の安全対策が位置づけられていることから、引き続き重点的な取組が必要。

④二輪車対策

二輪車事故件数

（単位：件）

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
二輪車事故件数	268	241	226	261	210	225
全事故件数	2,146	2,093	2,019	2,112	2,013	2,014
全事故に占める二輪車の割合	12.5%	11.5%	11.2%	12.4%	10.4%	11.2%

二輪車事故における死者数

（単位：人）

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
二輪車事故の死者数	5	8	4	6	1	4
全事故の死者数	21	32	25	29	28	19
全事故に占める二輪車の割合	23.8%	25.0%	16.0%	20.7%	3.6%	21.1%

- ・二輪車事故件数は減少傾向にあるが、全事故に占める割合は横ばいで、死者も毎年発生している。
- ・事故1件あたりの死者割合は全事故に比べ二輪車が概して高いため、死者数の減少に向けて、引き続き重点的な取組が必要。

⑤シートベルトの着用率100%を目指した対策

- ・上記(1)(道路交通安全)【目標⑤】に同じ。
- ・引き続き重点的な取組が必要。

3 その他の状況

①こどもの事故

こどもの事故件数(幼児・小学生・中学生)

(単位:件)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
こどもの事故件数	58	56	56	65	49	56
全事故件数	2,146	2,093	2,019	2,112	2,013	2,014
全事故に占めるこどもの割合	2.7%	2.7%	2.8%	3.1%	2.4%	2.8%

こどもの死者数(幼児・小学生・中学生)

(単位:人)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
こどもの死者数	1	0	0	0	2	0
全事故の死者数	21	32	25	29	28	19
全事故に占めるこどもの割合	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%

- ・こどもの事故は全事故の2~3%で推移。これまでどおり施策の中で取り組む。

②歩行者の事故

歩行者の事故件数

(単位:件)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
歩行者の事故件数	223	221	229	236	243	203
全事故件数	2,146	2,093	2,019	2,112	2,013	2,014
全事故に占める歩行者の割合	10.4%	10.6%	11.3%	11.2%	12.1%	10.1%

歩行者の死者数

(単位:人)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
歩行者の死者数	7	5	7	12	7	7
全事故の死者数	21	32	25	29	28	19
全事故に占める歩行者の割合	33.3%	15.6%	28.0%	41.4%	25.0%	36.8%

- ・歩行者事故死者の大半が高齢者であることから、高齢者対策として取組を継続。
- ・歩行者対策については、これまでどおり施策の中で取り組む。

③外国人対策

外国人の事故件数

(単位：件)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
外国人の事故件数	65	97	102	100	129	140
全事故件数	2,146	2,093	2,019	2,112	2,013	2,014
全事故に占める外国人の割合	3.0%	4.6%	5.1%	4.7%	6.4%	7.0%

- ・外国人が当事者となる事故の件数は少ないが、コロナ後に増加している。
- ・外国人の交通安全対策については、新たに重視すべき視点を踏まえ、施策の中で取り組む。

④特定小型原動機付自転車など小型モビリティ対策

- ・令和5年に特定小型原動機付自転車が区分されて以降、人身事故は発生していない。
- ・小型モビリティ対策については、新たに重視すべき視点を踏まえ、施策の中で取り組む。